

B777-300ERSFの商業運航開始

■エミレーツ航空、初の貨物改造機

エミレーツ航空（UAE）はこのほど、自社で運航していたB777-300ER型旅客機を貨物機に改造したB777-300ERSF型機を商業運航に投入した。貨物改造機の商業運航は同社として初めて。これまで同社の貨物機はB777F型新造機で構成してきたが、長胴型のB777-300ER型機を貨物機として活用することで、eコマース（EC）貨物など、かさばる貨物の輸送に対応する。貨物機の供給が引き締まる市場環境下、既存機材の転用により、拡大する航空貨物需要への対応力を高める。

6月30日付で同社貨物部門、エミレーツ・スカイカーゴ（以下スカイカーゴ）が発表した。B777-300ERSF初号機（機体記号=A6-EBK）は、香港発ドバイ向けの貨物便で商業運航に入った。

B777-300ERSF型機のペイロードは最大100トン、貨物容積は811立方メートル。B777F型新造貨物機と比べ、貨物容積は25%大きい。パレット搭載は47ポジションを確保し、B777F型機より10ポジション多いという。

スカイカーゴのバドル・アッバース事業部門上級副社長は、初のB777-300ERSF型改造貨物機の運航投入について「機材拡充と運航の柔軟性を高める次の一步」と位置付けた。

エミレーツは2026年3月期末時点でB777F型新造貨物機13機を保有している。今回、B777-300ERSF型改造貨物機1機が加わり、貨物機は計14機となった。

B777F型新造機の拡充も進めている。26年3月期にはB777F型機



初の貨物改造機となるB777-300ERSF型機

5機を受領し、貨物便ネットワークを44都市に拡大した。今回の発表によると、現在の貨物便ネットワークは62都市まで広がっている。

スカイカーゴは拡大戦略の一環として、26年12月までにB777F型新造機5機とB777-300ERSF型改造機1機を追加受領する。27年にはB777-300ERSF型機をさらに3機加え、同年末までに同型機を計5機体制とする。26年3月期末時点のB777F型機の発注残8機を含めると、27年末時点の貨物機はB777F型機21機、B777-300ERSF型機5機の計26機となる見通し。